

地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」地域まちづくりをすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを地まぢのチカラで情報発信します。

2022.05.26

vol.78

《 活動事例ご紹介 》

地まぢNEWS

令和3年度 まちづくり活動助成団体による成果報告会を開催しました！

昨年度、まちづくり活動助成(スタートアップ部門)を受けて活動した11団体が参加して、昨年度の活動を発表しました。

中でも、3回助成を受けた団体さんの発表では、活動を始めた当初のお気持ちや、継続していく中での気づきなど、3年分のお話をたっぷり聞かせていただきました。

後半のディスカッションでは、お互いに質問したりヒントをもらったり「熱量のある人とゆるくつながる」「楽しいことしか考えない」など、面白いキーワードも飛び出し、各グループで盛り上がりました。



地域の取組み

大曾根まちそだて会議

大曾根わくわくフェスタ2022

4月24日に、「大曾根わくわくフェスタ2022」が大曾根商店街にて開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、マルシェやステージには、地元の方がたくさん訪れていました。

また、ダンスや音楽隊が雰囲気を盛り上げ子ども達の笑い声が明るく響いていました。

特別企画ウッドブースは、木の空間づくりプロジェクトが取り組みの一環として、大曾根まちそだて会議にも所属する福田さんが担当しています。木で出来た組み立て式のマルシェブースが連なることで、空間に一体感が生まれ、イベントの雰囲気づくりに一役買っています。

木材の質感や枠のみを基調とした構造によって雨の日でも全体の印象が明るくなっているように感じられました。



当日の様子



地まぢ団体紹介

港まちづくり協議会

アートで繋がるまちづくり

今回は港まちづくり協議会事務局次長の大西さんにお話を伺いました。港まちづくり協議会は「暮らす、集う、創る」をテーマに、港まちエリアで様々な活動をされています。活動の中でも目を引くのはアートをきっかけとしたまちづくり活動です。

事務局がある港まちポットラックビルはアートにあふれた開放的な空間です。5月からは、地域の活動や会合などへのスペースの貸出も行うとのことでした。

地元の小学生が使われなくなった防潮壁にアートを描くプログラムは、小学生とアーティストの貴重な交流の機会となり、人気を博しています。まちに寄り添ったアートで地域とつながりを深めていきたいと語られていました。



防潮壁プロジェクト▲



地まぢ チャレンジ ~24人目~

坂口温郎さんご紹介

(株) 太田商店

代表取締役 太田亜佐子さん

- Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと
- A まちをアピールするためのタウン誌発行で多くの方に会えた事。
- Q これから取組みたいと考えていること
- A 藤が丘のさくらの廃材を使った新たな特産品の開発。
- Q 最後にひとこと
- A 自分のまちを誇りに思えるそんなまちづくり活動に参加しよう！

今回お話を伺ったのは、藤が丘で文具店・太田商店を営む太田さんです。おしゃれな店内には文具だけでなく、木の椅子とテーブルも。モノを買うだけで終わらずに、お客さんが少し座ってお話ができる、そんな空間をつくることで、藤が丘のまちの魅力となるようなお店にしたいと語られていました。

また、現在は藤が丘の桜の廃材とジビエを組み合わせて、藤が丘の特産品を作ろうと構想されています。太田さんは商店街振興組合の理事もされていますが、商店街の内外にとらわれず、藤が丘のまち全体を盛り上げていきたいという熱い気持ちが伝わりました。

